

わがくがき

広報

Public Relations

この元気があれば
菊川はもっと元気になれる

特集

菊川の元気をあなたから
菊川のチカラ

December
2012
Vol.172

12



菊川の元気をあなたから

菊川のチカラ

あなたが思い浮かべる「菊川」はどんなまちですか。

「自然が豊かなまち」「交通の便が良いまち」

もしかして「元気がないまち」なんて思っていないませんか。
でも、そんなことはないんです。

このまちには、「地域を元気に」「産業を元気に」と頑張っている人、元気な人がいっぱい。

今回の特集では、そんな地域に根ざし活躍する皆さんを紹介。「まちの元気」について考えます。

これからもこのまちで暮らし続けるなら、今まで以上に「明るく・楽しく・元気よく」暮らしていけたら素晴らしいと思いますか。

問い合わせ

企画政策課秘書情報係（☎35-0924）

菊川市をたくさんPRして、
市外の人たちに来てもらえる
ようなまちになってほしい。

立地条件のよい菊川市は、
もっといろいろな面で、
全国さらには外国にまで
存在をアピールすることが
必要（地味すぎる）。

明るくやさしい人間付き合い
のできる安心なまちづくりに協力
していきたい。豊かな人間づくりが
大切だと思います。

個性・特色がない。
もっと考え、知恵を出し合い
実行する必要あり。

菊川市といえば
「〇〇〇」と言える
代表的なものが欲しい。

まちづくりに関する市民の意見
平成24年4月実施、市民アンケート調査。
市政全般に関する自由記述から抜粋。

急速に進む人口減少

最近、「まちおこし」や「地域活性化」という言葉をよく耳にします。全国の自治体では、地域の特性を生かした企画やイベントなどを実施。競い合うように「まちづくり」に取り組んでいます。

今、なぜまちづくりの必要性が叫ばれているのでしょうか。

理由の一つとして上げられるのが、少子高齢化の進展による人口減少。現在、全国的に人口減少が進み、今後さらなる加速が予想されています。菊川市も例外ではなく、平成17年国勢調査時の人口4万7502人をピークに、22年の国勢調査では4万7041人と減少しました。また、年代別人口推移も、平成12年から老年人口（65歳以上）が年少人口（0歳～14歳）を上回り、人口に占める老年人口の割合も年々増加しています。

求められる定住人口の増加

人口減少、少子高齢化が進むことで、「地域経済の縮小」「コミュニティの衰退」など、さまざまな影響が心配されます。こうした課題に対し各自治体には、「市外から市内へ住んでもらう人を増やす」。また、「市内から市外へ出ていく人を減らす」定住化への取り組みが求められています。特に、これから子育てする若

い世代や、退職を迎える団塊の世代を呼び込もうためには、「このまちに住んでみたい」と思われるような「まちの魅力」が必要なのです。

まちの魅力とは何か

では、「まちの魅力」とは一体何でしょう。「施設がたくさんある」「交通の便がいい」「医療が充実している」「自然が豊か」など、求めるものは人それぞれです。しかし、どんなに施設や環境が充実していても、そこに住む人たちに元気がないまちは、魅力的なまちに映らないのではないのでしょうか。

市が今年4月に実施した市民アンケートで、菊川市が「住みやすい、どちらかというと住みやすい」と回答した人は53・6%。半数以上の人が、住みやすいと感じています。一方、「住みにくい」と回答した人の理由を見ると、「まちに活気がない」が23・1%と最も多くなっています。自由意見の中にも、「まちが寂しい」「まちの活性化に力を注いでほしい」などの意見が多く見られます。

ということは、菊川がもっと「元氣なまち」になれば、菊川に「住みたい」「住み続けたい」と思う人が増えるのではないのでしょうか。

次ページからは、菊川が「もっと元氣で、魅力的なまち」になるための可能性を探っていきます。

菊川の経済、活気、
元氣が菊川茶の元氣に
大きく影響すると思う。

まち全体に活気がないと思います。
もっと若い人たちが活躍でき、
まちづくりに参加できるような
まちづくりに取り組んでほしい。

誇れるまち、自然と共存
できるまち、老若男女が笑って
暮らせるまちをめざして。

菊川駅前、商店、
街を元氣にしてほしい。

今の自然を残し、
いつまでも深呼吸できる
菊川市であって欲しい。



まちを元気に

「ママが元気なら、まちはもっと元気になる」を合言葉に、ママを中心に活動する「子育てサポーターぼれぼれ」。「まめまめマーケット」の開催や「ママズシェアショップそらまめ」の運営など、ママたちの発想を活かした取り組みを進めています。

「菊川を元気にしたい」と奮闘する子育てママたちの思いを、代表の倉部光世さんに聞きました。



1



2



3



4

1_11月25日に開催されたまめまめマーケット
3_11月16日開催のライフオーガナイザー講座

2_ママズシェアショップそらまめ
4_子育てサポートぼれぼれサロン託児

地元菊川で感じた子育てへの不安

高校を卒業してからおよそ20年間、私は菊川を離れ東京などで暮らしてきました。しかし、出産を機に「自分の思う子育ては都会ではできない」と考え、家族と共に地元菊川へ帰ってきました。ところが、長年離れていたため、近所でもお年寄り以外は知らない人ばかり。同年代のママ友もなかなかできず、「せっかく帰ってきたのに」と感じていました。同時に、「自分の地元でもこうなんだから、他のまちから嫁いで来た人は、もっと心細く不安だろうな」と感じました。

ママたちの隠れた才能を活かす場

ママたちが気軽に集まれる場所を作りたいと考えた私は、自宅でパン教室を開催しました。たくさんの方々と出会い、話をする中で、才能豊かなママがたくさんいる一方、その才能を生かす場がないことがわかりました。そこで、自宅を使ってママたちのハンドメイド品などを販売するフリーマーケットの開催を企画。これが、「まめまめマーケット」の始まりです。

第1回目は、地元の飲食店やケーキ屋さんなどにも声を掛け、手作りのチラシで来場を呼び掛けました。本当にお客さんが来るか不安でしたが、当日オープン前から行列ができ、途中入場制限をするなど大盛況でした。

子育てサポーター
ぼれぼれ 代表

倉部光世さん
(五丁目)

静岡県教育委員会主催の「子育てサポーター養成講座」受講をきっかけに平成20年4月、仲間と共に「子育てサポーターぼれぼれ」を創立。会の代表として、子育て中の母親たちの仲間作り、心と体のリフレッシュ活動などに取り組んでいる。



同じ思いのママたちとのつながり

自宅で「まめまめマーケット」を定期的に開催する中、こんなにたくさん人が来てくれるなら、場所を変えればもっと多くの人が来てくれるかもしれないと考えようになりました。

私が菊川を離れている間、菊川駅南商店街は、区画整理によりとてもきれいに整備されました。しかし、以前と比べ商店は減り、人通りも少なくなっていました。昔のにぎわいを知っていたこともあり、とても寂しく感じていました。そこで、「菊川のまちを、たくさんの親子連れが楽しく歩ける機会に」と、駅南商店街を中心にまめまめマーケットを開催するようになりました。コンセプトも「菊川のひととまちを元気に」と変更すると、子育て中のママを中心に、同じ思いを持った仲間がたくさん集まるようになりました。

商店街と出店者、買い物客をつなぐ



「駅南朝市&フリーマーケット&グルメ」

菊川駅南商店街を会場に開催する「駅南朝市&フリーマーケット&グルメ」。街中に賑わいを創り出そうと、菊川駅南商店街や市、観光協会、商工会などが実行委員会を組織し、平成22年12月から2カ月に1回のペースで開催しています。

菊川駅前からふんすい広場までの歩行者専用道路の両脇に、お茶やレタス、トマトなどの野菜を販売する地元農家、スイーツや惣菜などの手作りグルメ、手作り品や雑貨などを販売する店などが並びます。また、衣料品やアクセサリ、おもちゃなどのフリーマーケットも行われます。会場には、新鮮な野菜を求めて訪れる人、グルメや買い物を楽しむ親子連れなど多くの人でにぎわいます。

朝市やフリーマーケットを通して、商店街と農家や飲食店などの出店者、地元住民や市外から訪れる買い物客などをつなぐイベントへと成長しています。



駅南朝市 & フリーマーケット
& グルメ実行委員長
きみお
又野公雄さん
(本通り上)

朝市でつながる街と人の元気

駅南商店街に、何とか人を呼び込もうと考えたのがこのイベントの始まりです。とにかく継続することが大切と考え、2カ月に1回開催しています。

来場者が増えれば出店者が増え、さらに来場者も増えていくと思います。ぜひ、多くの皆さんに駅南商店街に足を運んでいただきたいです。



さよこ
松浦佐代子さん
(富士見台)

From the kitchen of Sayoko

アメリカンクッキー販売

私が作るシュガークッキーは、夫の仕事の関係でアメリカに生活していたとき、現地の方に教えてもらった思い出のクッキーです。食べた方が「おいしい」って言うてくれたり、思いを共感してくれたりするのが本当に嬉しいです。



ゆき
財津由記さん
(本通り下)

yukichicaの店(nimes)

焼き菓子&雑貨販売

まちを元気にしたいという思いはみんな同じ。ママとして、お店を営む一人として、楽しく、できる範囲で参加しています。まめまめマーケットではnimes前も会場になります。多くの方が来てくれて、楽しんでくれるのが嬉しいです。



じゅん
平松 純さん
(潮海寺中)

Jun'sぐう〜☆ちょきぱん

天然酵母手こねパン販売

子どもの頃はお菓子作り、大人になってパン作りに熱中するようになりました。でも、家族や友達に食べてもらうのとは違い、販売するとプレッシャーもあります。おいしいものを、安心して食べられるものをと日々勉強中です。

子育てママの新しいコミュニティ

活動が続ける中、「教えたい人と習いたい人をつなぐネットワークをつくりたい」「お菓子や、ハンドメイド品を販売したい人はいくらでも、自分でお店を持つのは難しい。気軽に活動できる場所があれば」と考えるようになりました。ある時、そんな考えを地元工務店の社長さんに話したところ、新たに建設するショールームを借わせていただけるようになりました。

「ママズシェアショップそらまめ」と名付けられたこの場所は、ママたちの憩いの場。子育てサロンの開催はもちろん、登録した人はお菓子や雑貨の販売、カフェの営業、教室を開催することもできます。今では毎日のようにイベントやショップ、教室が開かれ、子育て中のママには交流と学びの場に、

才能を持った人には発表や自分の夢を叶える準備をする場となっています。

菊川が好きだから元気にしたい

菊川には、これといった観光スポットや商業施設はありません。しかし、JR菊川駅や東名菊川インターチェンジ、近くには富士山静岡空港や東海道新幹線掛川駅などがあり、交通の便に恵まれたまちです。また、上倉沢の棚田など自然を楽しめる場所もあります。子育て世代の人たちに、魅力的なまちと感じてもらうには、さまざまな年代や業種の人たちがつながり、まちを元気にしていくことが必要だと思います。私は菊川が本当に良いまちだと思いますし、大好きです。菊川をもっともっと元気にするため、仲間と一緒に楽しみながら、活動が続けていきたいです。

ブログまめまめマーケット <http://mame2.hamazo.tv/>

産業を元気に

長年、菊川の産業を支えてきた茶業。消費者のリーフ茶離れや荒茶価格の低迷など、近年その環境は厳しさを増しています。しかし、「茶業を元気に」と、受け継がれてきた茶園を守り、汗を流し、お茶を作り続ける人たちがいます。

まちの誇りである茶業を次代へ引き継ぐため、地域全体で茶業を盛り上げようと奮闘する、茶農家の皆さん取材しました。



後列左から長谷川弘政さん(平長谷川園)、松本光生さん(元松本園)、黒田一成さん(加黒田製茶)、赤堀直樹さん(有上したん田園)、赤堀昌弘さん(有新赤堀製茶工場)、赤堀友啓さん(有田赤堀園)、前列左から赤堀加世子さん(有新赤堀製茶工場)、赤堀和代さん(有上したん田園)、赤堀さとみさん、赤堀静子さん(有田赤堀園)、黒田あや子さん(美黒田製茶)

競い合い互いにレベルアップ

広大な茶園と多くの茶工場が点在し、まさに茶処「静岡」を象徴する景観が広がる牧之原台地。南部に位置する赤土原には、組合や買葉製造、自園自製など数多くの製茶工場が立ち並びます。この中の7つの製茶工場が集まり、地域全体で茶業を盛り上げようと活動しているのが「赤土原緑茶会」の皆さん。普段はそれぞれの工場でお茶を製造していますが、10年ほど前から共同で秋冷茶の製造に取り組んでいます。

秋の新茶と呼ばれる秋冷茶。品質が良く秋らしい香りとやわらかい味わい特徴で、遠くは仙台からも注文があるそうです。赤堀友啓さんは、「この地域の製茶工場は、互いに良きライバル。競い合いレベルアップしてきました。しかし、いくら一軒が頑張っても限界があります。何とか赤土原のお茶をPRすることができないかと考えたのが始まりです」と当時を振り返ります。

つながりで新たな可能性を実感

今年9月、緑茶会のメンバーが中心となり、市が進めるグリーンツーリズム事業の一環として、お茶摘み体験ツアーを開催しました。茶園を提供した黒田一成さんは、「受け入れが決まっただけでは、ちゃんと芽を出さないといけないというプレッシャーと、楽しんでくれるだろうかという不安でいっぱいでした」と振り返ります。

当日は、県内外から家族連れなどおよそ100人が参加。手摘みのほか、手揉みや乗用型摘採機の操縦などを体験しました。長谷川弘政さんは、「皆さんがすごく楽しそうで、特に何回も乗用摘採機に乗り喜び子どもたちの顔を見て、やつて良かったと思いました」と笑顔を見せます。また、お茶のてんぷら試食や新茶の試飲なども設けられ、手作りの茶菓子なども振舞われました。赤堀直樹さんは、「みんなで協力すれば、『こんなに素晴らしいおもてなしができるんだ』と、自分たちが驚きました」と、協力することで生まれる新たな可能性を感じたそうです。

赤土原から茶業の元気を発信

これからの茶業について赤堀友啓さんは、「茶価の低迷や風評被害など、私たちも不安がいっぱいです。特に、茶農家の高齢化と後継者不足は一番の課題。若い人たちがお茶をやってみてほしいと思うよう、競い合い、協力し合い、この地域から茶業を元気にしていければ」と話してくれました。



9月15日に開催されたお茶摘み体験ツアー。子どもたちは、バス出発の直前まで、何回も何回も乗用型摘採機の乗車を楽しみました。



堀川佳通さん(森)

父^{ひとし}仁司さん、母^{みよこ}美也子さん、弟^{たけみ}卓巳さんと共に、茶づくり堀川園を経営。茶の生産直販にこだわり、生産から製造、加工、袋詰め、販売まで、一貫して行っている。

静岡茶独自のGAP制度（良い農業のやり方＝Good Agricultural Practice）のT-GAPを取得するなど、安全・安心で信頼性の高い茶の生産に努めている。

現在、親子二代で茶の生産直販に取り組む佳通さん、「厳しいといわれる茶業ですが、私たち若い茶農家が元気にお茶を作り続けていければ、菊川、静岡の茶業は、きっと元気になると信じています」と、元気に語ってくれました。

第29回全国茶生産青年茶審査技術競技会（全国茶生産青年団主催）が11月16日、静岡市の静岡茶市場で開かれました。静岡県をはじめ、鹿児島や京都、福岡など茶産地14府県から、20チーム、100人が団体戦と個人戦に出場しました。全国の若手生産者が一堂に会し、お茶の判定技術を競うこの大会で、堀川佳通さんが個人戦で優勝。農林水産大臣賞に輝きました。

第29回全国茶生産青年茶審査技術競技会で 堀川佳通さんが個人優勝を飾りました



▲堀川園ファミリーの皆さん



▲表彰を受ける佳通さん



▲バーベキューを楽しむ参加者



▲おいしいお茶の淹れ方教室

一面に広がる茶園や農産物の収穫、私たちには見慣れた風景や日常の作業でも、都会で暮らす人たちの目には新鮮に映ります。市は、農商工連携により、市外在住者を対象としたグリーンツーリズム（農業体験事業）を進めています。地元農家や商店などと連携し、お茶摘みや農産物の収穫体験、試食会やバーベキューなど、市内産業の元気を発信するツアーを開催しています。

11月17日には、「菊川市の農産物とのふれあい体験」ツアーを開催。東京都や静岡市など、県内外から36人が参加しました。参加者は、地元農家からレタスづくりの話を聞いたり、トマト栽培を行うベルファーム施設内を見学したり、農産物の栽培について理解を深めました。また、バーベキューでは、地元夢咲牛をメインに、レタスやトマトなど市内の農産物をおなかいっぱい堪能。お茶の淹れ方教室では、深蒸し菊川茶の味を楽しみました。

グリーンツーリズムで 産業の元気を発信

INTERVIEW



小原香織さん
(静岡市)

知り合いに誘われてこのツアーに参加しました。菊川というお茶のイメージでしたが、夢咲牛やレタス、トマトなど他の農産物もおいしかったです。普段から、いろいろなツアーに参加していますが、また開催されるときには、他の友達も誘って参加してもいいかなと思いました。



渡邊華子さん
耀一くん(東京都)

雨でレタスの収穫体験ができなかったのは残念でしたが、バーベキューには大満足です。普段お肉をあまり食べない子どももたくさん食べました。東京では、雨の日には外へ出ることはほとんどありませんが、カッパを着て外を走り回るだけでも、子どもにとっては新鮮な体験だったみたいです。



地域を元気に

市は現在、「コミュニティを核としたまちづくり」を進めています。市内全11地区にコミュニティ協議会が設立され、市民や市民活動団体、企業や行政が信頼関係で結ばれた、「協働による地域づくり」に取り組んでいます。地域を元気にするため、「今、なぜ協働が必要なのか」。

浜松市市民協働センター長で、今年菊川市の地域活動支援アドバイザーとして活動する長田治義さんに聞きました。

市民協働の原点は自主防災

昨今、全国各地の自治体が「市民協働」のあり方を懸命に模索しています。「市の財政が厳しいから」「市の職員が減って、市民ニーズに対応しきれなくなったから」などと思う人もいるかもしれませんが、私はもともと深い歴史的な背景があると考えています。

私は、大正12年9月1日に発生した関東大震災が、市民協働の原点だと考えています。発生から37年が経過し、国は9月1日を「防災の日」に制定しました。以降、毎年この日を中心に、全国各地で住民参加の防災訓練が実施されるようになりました。これは、行政の力だけでは、多くの住民を救うことはできない。大きな災害が発生したときには、住民が住民を助ける行動を取らなければ、関東大震災のような大きな被害が出ると考えたからです。この考えこそが、まさに市民協働の原点（スタート）だと思っています。



えきまはなプロジェクト くらぶ
NPO法人魅力的倶楽部副理事長
浜松市市民協働センター長
はるよし

長田 治義 さん

市民力の大きさを実感

平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災では、市民ボランティアがさまざまな活動を展開しました。市民力の大きさを実感した国は、平成10年に特定非営利活動推進法を制定。NPO法人の活動を支援するための法律が、日本で初めて制定されました。

そして昨年3月11日、東日本大震災が発生しました。地震の恐ろしさと共に、混乱の中でも互いを気遣い、秩序を守り避難生活を送る被災者の姿に、人と人とのつながりや、地域の絆の大きさを改めて実感しました。

みなみやま安全・安心の集い

みなみやまコミュニティ協議会と小笠南地区自治会が、地区住民の防災・防犯・交通安全意識を高めるために開催するイベント。日常生活の中で起こりうる危険から、自分の身を守るための、さまざまなコーナーが設置されます。また、昨年度は、小谷村から雪のプレゼントもあり、多くの地区住民が参加しました。



えき＊はなプロジェクト

駅南土地地区画整理事業で整備された、菊川駅前ロータリー。その「菊川の玄関」を、美しく彩るプロジェクトです。「駅を利用する人に季節の花を楽しんでほしい」とボランティアや花の会、商店街、町部地区の自治会やコミュニティ協議会と行政が協働し、駅前ロータリーの花壇に花を植え、育てています。



市内各地区の地区センター祭り

1_100人で踊るソーラン(西方地区センター祭り) 2_懐かしの品を展示した今昔コーナー(町部地区文化展) 3_河城音頭の全員合唱(河城地区文化祭) 4_みたらし団子販売(六郷ふれあいフェスタ) 5_わら細工を教わる児童(内田地区ふれあいフェスタ) 6_小笠高校吹奏楽部の演奏(横地地区センターまつり) 7_多彩な作品展示(加茂地区文化祭) 8_自治会対抗ミニ綱引き合戦(ひらかわ会館まつり) 9_正剛本部みなみやま道場による空手演技(みなみやま会館まつり) 10_盛り上がった大なわ跳び大会(くすりん祭り) 11_自治会対抗ボール送り(みねだ会館まつり)



11

10

8

市民力Ⅱ地域力&減災力

切さを改めて認識しました。
このように、大きな災害が発生する度、行政だけでは解決できない課題が明確となり、「市民と一緒にまちづくりを進めなければ発展はない」と考え、懸命に市民協働を進めているのです。

まちが元気であり続けるためには、市民力を高めることが重要だと思えます。これは、行政に関心を持つとか、何か大それたことをするのはなく、まず自分の好きなことを好きな方法で始めることです。そして、自ら声を掛けていくことで、同じ趣味や考えを持っている人たちが集まってきます。人と人がつながれば、当然地域力が高まります。地域力が高まれば、災害が発生したとき被害を最小限に留めることができる。すなわち、市民力を高めることは、地域力を高め、地域の減災力を高めることになるのです。

市民力で菊川ファンを増やす

市民力を高めることは、もう一つ重要な意味があります。それは、市民が元気でいきいき暮らしているまちは、そこに住みたいと思う人が増えるということです。例えば、どんなに立派な建物でも、そこにいるスタッフに全く愛想がなく、対応も悪ければ、また行きたいとは思わないのではないでしょ

うか。逆に、どんな建物であっても、そこにいるスタッフが本当に親切で、親身になって対応してくれば、また行きたくなる。重要なのは、「どんな場所かではなく、誰がいるか」なのです。ですから、市外に「菊川ファン」を作ることができるとは、菊川に暮らす市民の皆さんだけなのです。

コミ協は人を結び付ける組織

人口や市役所との距離感など、菊川は市民協働を進めるのにちょうど良い規模だと思えます。特に、菊川のようなコミュニティ協議会(コミ協)を、他の自治体で立ち上げようとしても簡単ではありません。そのため、何か地域活動をしようと考えたとき、組織づくりから始めなくてはならず、すぐに行動へ移すことができません。

現在菊川では、コミ協を中心にさまざまな活動が展開されています。各地区の地区センター祭りには、多くの地域住民が参加。他にも、町部地区の「えき*はなプロジェクト」や南地区の「みなみやま安全・安心の集い」など、協働のタネがゴロゴロしています。

コミ協は、人と人を結び付ける組織です。「地域の人材を地域が生かす」また「個人のネットワークを地域に生かす」など、コミ協に地域の人がどれだけ多く関わるかで、菊川の元気に欠かせない、まちづくりの切り札になるのではないのでしょうか。



地域支援課
まさみ
佐藤雅巳 課長

市民活動の活性化を目指し

市では、第1次菊川市総合計画の基本方針「共に汗をかくまち」「笑顔がうまれるまち」の実現に向け、地域コミュニティの推進や市民活動の活性化に取り組んでいます。

「地域づくりに参加したい」という人や、「もっと活動を広げたい」と考えている団体の皆さん、ぜひ地域支援課市民協働係に提案や相談をお寄せください。



愛知県小牧市が菊川を視察

コミュニティ組織について検討を重ねている小牧市の区長と行政職員92人が11月16日と17日の2日間、菊川市が取り組む「コミュニティを核としたまちづくり」について視察研修を行いました。

市職員から、市の施策などについて説明を受けたほか、コミュニティ協議会役員との意見交換や施設見学などを行いました。

菊川の元気を市内外に発信するイベント「ODORA THE 菊川（おどらぎあ）菊川」が10月28日、菊川運動公園で開かれました。今年は、「発信」「交流」「菊川茶」の3つをキーワードに、出演者や出店者などの参加者と来場者が「元気」と「感動」を共有できる時間と空間を創造するため、実行委員会で検討を重ねてきました。

メインイベントのダンス大会には、県内外から31チーム、500人が出演。よさこいやHIPHOP、ストリートダンス、フラダンスなど、さまざまなジャンルの踊りを繰り広げました。フィナーレ



元気を発信

深蒸し茶発祥の地、菊川から、「元気」と「感動」を発信!



in 菊川運動公園
October.28[SUN]



お茶のイメージが変わった 古橋加奈子さん、五十嵐佐織さん 鈴木梨恵さん（浜松市）

ダンス大会に出場するためこのイベントに参加しましたが、他にもいろいろな体験ができて楽しかったです。特に「菊川ちゃっきり処」では、お茶についていろいろ勉強することができましたし、菊川が「深蒸し茶発祥の地」だと初めて知りました。また、お茶インストラクターが淹れてくれたお茶はすごく甘くて、お茶のイメージが変わりました。ボランティアで頑張っている中学生の姿にも感動しました。



菊川に来るのが毎年楽しみ ODORA THE 菊川大賞 祭舞 WaiWai 代表 水川美和さん（愛知県東郷町）

平成20年に、インターネットで偶然見つけ参加したODORA THE 菊川。以来、毎年参加させていただいています。メンバーも、この恵まれた会場で踊ることができるのはもちろん、ダンス以

外でも1日楽しめるこのイベントが大好きです。また、副賞でいただいた菊川の特産品詰め合わせが本当に嬉しかったです。



には、特別企画「みんなで踊ろう It's a small world」や「総踊り」が行われ、出演者も観客も一緒に盛り上がりました。

恒例の「クラシックカー・ミーティング」は、自動車関連企業が多い菊川ならではの企画。トヨタ2000GT、スカイラインGT-Rなど、昭和年代以前の国産車およそ50台が一堂に勢揃いしました。神奈川や山梨など県外からの参加者も多く、往年の名車を前に、オーナー同士や来場者との車談義に花が咲きました。

また今年は、「菊川ちゃつきり処」と題した菊川茶の特設PRコーナーを新たに設置。手揉み実演やお茶の種類当てクイズ、お茶インストラクターによる呈茶サービスなどを実施。親子でクイズに挑戦したり、友達同士で菊川茶を味わったり、多くの来場者が菊川茶の魅力、味を堪能しました。

この他会場には、新鮮な農産物の販売やゲームコーナー、行政PRコーナーなども設置されました。当日は、あいにくの雨にも関わらず、およそ1万4000人が来場。菊川のまち、産業、ヒトの元気を一杯発信しました。

今後、さらに多くの年代や業種の市民の皆さん、また、市外からの出演者や来場者をつなぐイベントとなるよう、検討を重ねていきます。



1_ 出演者も観客も一緒に盛りあがった総踊り
2_ 元気いっぱい出演者 3_ 遠州鳴子浪漫的息のあった踊り 4_ ミニ茶娘による「ちゃこちゃん音頭」 5_ クラシックカーミーティングには往年の名車が勢揃い 6_ 人気のセグウェイ乗車コーナー 7_ 菊川在住のアーティスト未来さんのSpecial LIVE 8_ お茶の種類当てクイズは子どもも大人も真剣 9_ 小笠高校茶道部コーナーで抹茶の味を楽しむ参加者



親子で1日楽しめました

河野裕治さん・陽太くん
(山梨県中央市)

親子で1日楽しめるちょうど良いイベントだと思います。お茶のPRコーナーもいろいろ工夫されていたし、お茶がおいしくて、おみやげも購入しました。ただ、今後菊川茶を買おうと思ったときに見るパンフレットや、観光マップなどがあれば、継続した購入や訪問に結びつくと思います。また、地元農家による農産物の販売や地元企業の参加があれば、もっと盛り上がるイベントになると思いました。



一体感あるイベントに

クラシックカーミーティングに参加した
加田由紀夫さん (山梨県南アルプス市)

私が所属する「ちっころ会」のメンバーと一緒に、2回目の参加となりました。みんな、ここに集まるのを楽しみにしていて、車の整備や手入れをしてきました。このイベントでは、たくさんの人と交流ができ、車を置いて他の催しを楽しむこともできる素晴らしいイベントだと思います。ただ、クラシックカーミーティングも、来場者による投票やパレードなどがあると、一体感が生まれてもっと良いと思います。

元氣をつなぐ

菊川には、さまざまな分野で元気に活躍する人、多くの住民が集い活発に活動する元気な地域がいっぱい。この元気な人と人、地域と地域、人と地域が「つながる」ことで、その元気はもっと大きく広がっていきます。

「元氣」が「つながる」ためには何が必要なのか。その可能性を探ります。



▲新たな情報を求め市内を飛び回る「菊川市観光資源調査及び観光コース策定事業」調査員

新たな菊川の資源を求めて

誘客を図れるような観光資源が多いとはいえず、周辺市町と比べ交流人口が少ない菊川市。県の調査では、菊川市の観光交流客数は31万4000人と県内の市で最下位です（平成23年度静岡県観光交流の動向）。市は今年度市政運営の主要テーマに「情報の発信」を新たにに加え、交流人口拡大につながる菊川イメージの創出と、市内外への積極的な情報発信に取り組んでいます。

その取り組みの一つ、緊急雇用創出事業を活用した「菊川市観光資源調査及び観光コース策定事業」では、今まで見過ごされていたり、埋もれていた、または改めて焦点を当てることで輝く菊川の資源を発掘。今後の観光施策に活かしていくための調査を実施しています。

この事業では、委託を受けた3人の調査員が、市内各地に「足」を運び、「目」と「耳」でさまざまな情報（ヒト、モノ、コト）を収集。さらに、フェイスブックページ『いいね！菊川市』を活用し、その情報を加工・発信しています。

フェイスブックでつながりを創出

フェイスブックとは、世界最大のソーシャルネットワークサービス（SNS）。利用者数は全世界で9億人を超え、日本国内でも1000万人以上

INTERVIEW

新たな資源を求め、市内各地を巡る3人の調査員に菊川の印象を聞きました

人と人のつながりが強いまち

砂原 敦さん（掛川市）



今回、菊川のさまざまなイベントに参加し、いろいろな人と話をして感じたことは、地域への思いと人とのつながりが非常に強いまちだということです。この特徴を活かしていくと、とても魅力的なまちになるのではないのでしょうか。

1日楽しむのにちょうど良い

鈴木貴大さん（掛川市）



文化会館アエルを拠点に市内各地を調査していますが、菊川は狭すぎず、広すぎず、まちを巡るのにちょうど良いサイズだと思います。史跡やビューポイントなど、さまざまなスポットをつなぐことで、1日楽しめるちょうど良いコースになるのではないのでしょうか。

子育て環境が充実したまち

大石良子さん（島田市）



菊川で感じたことは、児童館など子育て環境が整備されていることです。もっと子育て世代にアピールすることで、菊川で子育てしたいと考える人も増えるのではないのでしょうか。また、観光については近隣市町と一緒に考えることが必要だと感じました。

今までに「いいね！菊川市」に掲載された情報の一部を紹介します

ヒト



ミュージカルシアター STAGE21

菊川市を拠点に活動する劇団「STAGE21」さんの練習にお邪魔しました。ミュージカルの練習風景を見る機会なんて初めての体験だったんですが、第一印象は「演じているみなさんが真剣だけどすごく楽しそう！」でした。

「芸術は正直。それが観てくれるヒトへのメッセージになる」と語るのは代表の大石敦史さん。劇団員一人ひとりの『生きる力の強さ』を作品にのせて、観ている人に届けたいと熱い想いを語ってくれました。2月9日(土) 10日(日)のアエルでの公演が楽しみです。

モノ



オープンハートローズ

下内田でバラを栽培している「やぎばら園」さんにお邪魔しました。実はこちら、県が募集した「恋愛・結婚・子宝」にまつわる噂のスポット「ふじのくにエンゼルパワースポット」に選ばれているんです。

その理由が平成23年に発表された「オープンハートローズ」というハートの形をした品種のバラ。これはやぎばら園さんで品種改良された新種のバラなんですね。

これはたしかにクリスマスとかバレンタインに贈ったら喜ばれそうです。

コト



たこまんお菓子フェア

年1回10月に「たこまん」で開催されているイベントで、例年1200～1300人が来場するそうです。どおりで駐車場がいっぱいになるわけです。

お菓子の販売だけでなく、2階ではゲーム体験もやっていて、私も子どもたちと一緒にゲームに挑戦。大砂丘とラスクをいただきました。

このイベントには、「たこまん」各店舗からスタッフが集まって準備しているそうで、「私達にとってもお祭りみたいなものです」という言葉が印象に残る、楽しいイベントでした。

菊川のことを一番良く知っているのは、菊川に暮らす市民の皆さんです。ぜひ、まちを元気にする活動やイベント、頑張っているヒト、美味しかったモノ、行って面白かったコトなど、皆さんが知る情報を教えてください。その情報を共有することで、今まで別々に活動していた人と人、農業と商業など異なる産業、違う目的で活動していた団体、今まで関わりがなかった地域同士が、新たな出会いや発見を通じてつながっていくのではないのでしょうか。

つながることで広がる元気

今回の事業では、収集した情報をどのように生かすか、また、その情報を市内外に効果的に発信できるかが大きなポイント。フェイスブックを活用することで、行政だけで考えるのではなく、その情報に興味や関心を持った人が集まり情報交換や関連する新たな情報を得ることが出来ます。また、菊川ならではの情報をリアルタイムに発信すること、その情報をきっかけに、地域や人のつながりを創り出すことが出来ます。

あなたが知る菊川の魅力大募集

市では、市民の皆さんの力を借り、今まで見過ごされていたり、埋もれていたたりした、市の「魅力」や「誇れるもの」「活動」などを掘り起こし、市ホームページ「きくがわフォトニュース」や「広報きくがわ」などで、市内外に発信しています。ぜひあなたが知る魅力をお寄せください。

■あなたが知る魅力を教えていただける場合は

写真数点と応募者氏名・住所・連絡先・メールアドレス・応募者名公表の有無、情報のタイトル・日時・会場・参加者・内容などを、「電子メール」「郵送」「直接」、企画政策課秘書情報係へお知らせください。

問 企画政策課秘書情報係

(☎35-0924 FAX)35-2117 メール kikaku@city.kikugawa.shizuoka.jp)

Facebookで菊川の「いいね！」を発見しよう

フェイスブックページ「いいね！菊川市」では、市内のイベント情報、ビューポイント、商店、史跡などを、写真入りで掲載しています。今まで知らなかった情報や隠れた名所、元気な人を発見、共有しませんか。

■「いいね！菊川市」を見るには

● <https://www.facebook.com/e.kikugawa> へアクセス

● 「いいね！菊川市」で検索する

※フェイスブックに登録しなくても、掲載内容を見ることができます。「いいね！」やコメントをするには、登録が必要です。

問 菊川市観光資源調査及び観光コース策定事業事務局

(文化会館アエル内☎35-5010)

真心込めたお弁当を
地域の高齢者に届ける



8

菊川の田んぼアートを
もっと有名にする



9

かわいい孫たちと、
いっぱい遊ぶ



10

菊川はもっともっと元気になる。 あなたから。

地域が元気になる。
まちはどんどん元気になっていく。
他でもないこのまちに暮らすあなたです。
あなたの「チカラ」です。

感謝の気持ちを
忘れない



11

仲間を大切にする



12

美しいアートフラワー
をつくり続ける



13

ボランティア活動を
いっぱいする



14

8_横地地区配食ボランティア「七重会」の皆さん 9_菊川市田んぼアート実行委員長 池田正^{ただし}さん 10_野中茂樹^{しげき}さん、
信子^{のぶこ}さん(丹野)と孫の石川詩穂^{しおん}ちゃん、竜^{りゅう}くん、翔^{しょう}くん 11_永田由貴^{ゆき}さん(潮海寺下) 12_消防団3分団2部の皆さん
13_深雪アートフラワー師範 松下とし子^{としこ}さん(仲島二丁目) 14_小笠児童館小学生ボランティアサークルの皆さん



**あなたのその元気があれば、
菊川の元気を**

元気な人の周りには元気な人が集まり、
そして、元気な地域が集まれば、
この「元気の連鎖反応」の一步を踏み出すのは、
菊川を元気にするために必要なのは、



1_よさこいダンスチーム「炎衆北斗」の皆さん 2_菊川市文化協会会長 藤田 泉さん 3_鈴木亨麻くん、せなちゃん（堤いずみとおま）
4_鈴木壽夫さん（潮海寺下ひさお） 5_遠州菓子処えびら堂 杉田岳人さん（たけひと） 6_菊川児童館「公園でいっしょにあそぼう!」
参加者の皆さん 7_小澤 繁さん（しげる しばる）（田ヶ谷）



1_11月6日、GO!GO!ワイドらぶらじ
街角ラブラブスクーピーのコーナーで、菊
川保育園を取材する山本真衣さん。

2_県内各地を走り回り、さまざまな静岡の
魅力を発信するラジオカー「SCOOPY
(スクーピー)」



人との出会いが一番の魅力 電波に乗せて静岡の元気を伝えたい

SBSラジオキャスタードライバー

山本真衣さん

ラジオカー「スクーピー」に乗って、
日々県内各地を飛び回る山本真衣さん。
今年4月から、SBSラジオのキャス
タードライバーとして、静岡の魅力を
電波に乗せて発信しています。

小さい頃から何かを伝えたり表現し
たりすることが好きだったと話す真衣
さん。大学3年のときに参加した就職
説明会で、現在の仕事と出会います。
「人と話すことが好きで、じっとして
いることが苦手な私にぴったりの仕事
だと思いました」と振り返ります。

キャスタードライバーの仕事は、S
BSラジオの番組内で県内各地の様子
をリポートすること。真衣さんを含め
3人のキャスタードライバーが2人1
組となり、スクーピーを運転して現場
へ行き、放送機材の準備や音声を電波
に乗せるための操作も自分たちで行い
ます。真衣さんは「どんなに遠くても
自分たちで運転していきますし、重た
い機材も運びます。決して華やかな仕
事ではありませんよ」と微笑みます。
また、「生放送は失敗が許されません。
機材の操作方法やリポートの仕方など、
物覚えが悪い私に何回も何回も教えて
くれた先輩や上司には本当に感謝して
います」と話します。

「今は毎日が本当に楽しい」と話す
真衣さん。この仕事の魅力を聞くと、
「県内のいろいろな場所へ行って、多
くの人と出会い、さまざまな話をして、
毎日違う刺激をもらうことができる。
本当に素敵な仕事だと思います」と笑
顔で語ります。

そんな真衣さんは、生まれ育ったま
ち「菊川が大好き」だそうです。平成
21年開催の国民文化祭には、菊川を
舞台にした創作劇「チェンジ」に市民
劇団の一員として参加。また、市文化
祭や成人式の司会を務めるなど、菊川
のイベントに積極的に参加してきました。
「何か特別な場所や風景があるとい
うわけではありませんが、家族がいて、
近所の人たちがいて、友達がいる。
私にとって菊川は、他のどんなまちよ
りも魅力的な場所です」と、ふるさと
への思いは今も変わりません。

「キャスタードライバーという仕事は、
取材した人の魅力や自分の感動など、
その場の臨場感をいかに伝えることが
できるかが大切だと思っています。ま
だまだ教えていただくことばかりです
が、この仕事に誇りを持ち、頑張りたいです」と力強く話す真衣さんの声を、
ラジオで聞くのが楽しみです。

(23歳 潮海寺上出身)
大学卒業まで地元菊
川で暮らし、今年4月か
ら静岡市で一人暮らし
を始めた。
趣味は小学3年で始め
たミュージカルや、高校・
大学時代に熱中した
ダンス。1回の本番にか
ける思いは今も変わ
らない。

Q^{広報} Quiz

No.45

市内のさまざまな情報(ヒト・モノ・コト)を掲載するフェイスブックページの名称は?



今月の一品

田んぼアートのもち米1升(1.5kg)

提供: 田んぼアート実行委員会
協力: 菊川市観光協会

正解者の中から1人に「今月の一品」が当たります。ハガキに、答えとあなたの住所・氏名・年齢・電話番号のほか、身近なできごとや広報を読んで感じたことなどを書き添えて、企画政策課までお送りください。

■ あて先

〒439-8650 菊川市堀之内61番地 菊川市役所企画政策課

■ 締め切り

平成 24 年 12 月 31 日(月) 当日消印有効

■ 結果

10月号の広報クイズには9人の応募があり、全員正解。答えは「^{ラン}L a n - ^{チーゴ}T 0 0 3」でした。



杉本 煌太くん(2歳)
(島川)

元気いっぱい遊んで、たくましく育ってね。

すくすくアイドル No.42

0歳から3歳くらいまでの子どもの写真を募集しています。この機会に、お子さんを「広報紙デビュー」させてみませんか。

①・② 企画政策課秘書情報係
(☎ 35-0924 メール: kikaku@city.kikugawa.shizuoka.jp)



横山 飛揮くん(4カ月)
(日吉町)

100日おめでとう！
これからもかわいい表情をたくさん見せてね。

明日のレシピ 043

おいしい食事は明日の活力につながります。体に優しい家庭料理。それが明日のレシピ。

ぶりのソテー トマトソースかけ

ぶりを洋風にアレンジした逸品
トマトソースの酸味が魚のおいしさを引き立てます

材料(4人分)

【トマトソース】		【ぶり】	
にんにく	1/2 片	ぶり 4 切	400g
オリーブ油	大さじ 1/2	塩	小さじ 1/3
トマト水煮缶詰	200g	こしょう	少々
赤唐辛子	1/2 本	小麦粉	大さじ 1
A 白ワインビネガー(酢で代用可)	大さじ 1	オリーブ油	大さじ 1
オレガノ(乾燥)	小さじ 1/4	粉チーズ	大さじ 2
塩	小さじ 1/6	1人分エネルギー:	
こしょう	少々	329Kcal	



今回の料理人



健康づくり食生活推進協議会の皆さん

〇作り方

【トマトソース】

- ① にんにくはみじん切りにする。唐辛子は種を除き、小口切りにする。トマトの水煮缶は粗く刻む。
- ② なべにオリーブ油大さじ 1/2 とにんにくを入れ、火にかける。香りが出てきたら、Aを加え、ややとろみがでるまで中火で煮る。
- ③ ②に塩、こしょうを加えて味を調える。

【ぶり】

- ① ぶりに分量の塩・こしょうをふり、10分ほど置く。
- ② ぶりの水気をふき、小麦粉をまぶす。フライパンにオリーブ油大さじ 1 を熱し、ぶりを焼く。焼き色がついたら裏返し、チーズをのせてさらに焼く。器に盛り、トマトソースをかける。



さまざまな分野で永年にわたり活躍され、市の発展に寄与された個人や団体を表彰する「菊川市表彰式」が11月2日、菊川市役所で行われました。

今年度は、区画整理およびボランティア活動において、多大な貢献をされた4名を表彰しました。

平成24年度菊川市表彰式

功績 をたたえて



えい いち
石山榮一氏
(下本所)

昭和61年8月から現在まで、東遠広域都市計画事業菊川駅南土地地区画整理事業審議会委員に就任し、平成13年からは会長職務代理者として、18年からは会長として市の駅南土地地区画整理事業の推進に寄与されました。



じゅん きち
伊藤純吉氏
(日之出町一丁目)

昭和61年8月から現在まで、東遠広域都市計画事業菊川駅南土地地区画整理事業審議会委員に就任し、平成18年8月からは会長職務代理者として市の駅南土地地区画整理事業の推進に寄与されました。



よし ろう
鈴木由郎氏
(本通り下)

昭和61年8月から現在まで、東遠広域都市計画事業菊川駅南土地地区画整理事業審議会委員として、永きにわたり市の駅南土地地区画整理事業の推進に寄与されました。



しょう じ
渡邊昇治氏
(大石)

20年余にわたり毎朝、生仁場橋付近で横断旗を持って児童・生徒の登校を見守り続け、登校指導や声かけを実施。子どもたちの安全・安心にご尽力いただいています。

※市では永年にわたり、ボランティア活動などを行っている人や団体の発掘に努めています。
身近に該当する事例がありましたらお知らせください。

年末年始の市の業務

市の関係機関は基本的に12月29日(土)から平成25年1月3日(木)までお休みです。ただし、市役所本庁時間外受付の窓口で、出生届や婚姻届、死亡届などは受け付けます。また、各施設の休みは下表のとおりです。

施設名	問い合わせ	12月				1月			
		28 金	29 土	30 日	31 月	1 火	2 水	3 木	4 金
市役所本庁	35-2111 (案内・時間外)		休	休	休	休	休	休	
小笠支所	73-1111		休	休	休	休	休	休	
プラザけやき	37-1111		休	休	休	休	休	休	
菊川児童館(子育て支援センター)	37-1135		休	休	休	休	休	休	
小笠児童館(子育て支援センター)	73-5698		休	休	休	休	休	休	
中央公民館 ※1	73-1130		休	休	休	休	休	休	
文化会館アエル	35-1515	休	休	休	休	休	休	休	休
菊川文庫	36-2220		休	休	休	休	休	休	
小笠図書館	73-1132		休	休	休	休	休	休	
黒田家代官屋敷資料館	73-7270	休	休	休	休	休	休	休	休
歴史街道館	73-6285	休	休	休	休	休	休	休	休
市立総合病院 ※2	35-2135 (案内)		休	休	休	休	休	休	
菊川市家庭医療センター	73-2267		休	休	休	休	休	休	
保養センター 小菊荘	73-2460				休	休	休	休	
環境資源ギャラリー	23-2273		休	休	休	休	休	休	
環境保全センター	35-2065		休	休	休	休	休	休	
赤土リサイクルステーション	—	年末年始も持ち込み可能							
聖苑組合	36-3160					休	休	休	
菊川生活環境センター	35-4495		休	休	休	休	休	休	
小笠衛生	73-2352		休	休	休	休	休	休	

※1) 12月27日(木)から平成25年1月5日(土)までの間は会議室などの利用はできません。 ※2) 急患は随時受け付けます。

年末のごみの搬入はお早めに

問い合わせ 環境推進課環境推進係 (☎35-0916)

毎年、年末の大掃除などによりごみが多く発生し、環境資源ギャラリーが大変混雑します。今年の年末も混雑が予想されますので、家庭内の片付けやごみの搬入はお早めをお願いします。

ステーション収集に出せるものはゴミステーションに、古紙やプラスチック製容器包装等の資源物については下記無料受取を利用するなど、ギャラリーへの搬入量削減にご協力ください。なお、ギャラリーへ搬入する場合も、事前に解体・分別を済ませ、スムーズなごみ出しにご協力ください。

●環境資源ギャラリーのご案内

受取時間 平日：午前9時～正午、午後1時～4時

※12月23日(日)は午前9時～11時30分まで

年末年始休業日：12月29日(土)～平成25年1月3日(木)

問い合わせ 環境資源ギャラリー (☎23-2273)

●資源物の無料受取

受取場所 赤土リサイクルステーション

受取時間 午前8時～午後5時(年末年始も受け取ります)

受け取れる物 びん、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、白色トレイ、プラスチック製容器包装、新聞紙、雑誌、ダンボール、雑がみ

●古紙の回収拠点

回収場所 宮前ごみステーション横(線路北側)、噴水公園横本通り上ごみステーション横(市役所東側)、河城地区センター駐輪場横、六郷地区センター西側駐車場、青葉台コミュニティセンター敷地内、内田地区センター郷土資料館前、牧之原気象観測レーダーグラウンド前、横地地区センター前、みなみやま会館調整池北側

受取時間 水、土、日曜日 午前8時～午後5時

※平成25年1月2日(水)は休みです。

出し方のお願い 風で飛び散らないように、紙袋に入れるか、紙紐で縛って出してください。



芸術の秋に文化の波紋

菊川市文化祭と菊花展開催



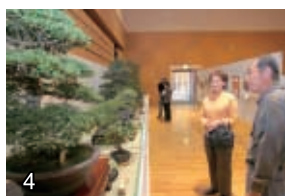
1



2



3



4



5

- 1_華麗な社交ダンス（小笠社交ダンスODC） 2_勇ましい剣舞（小笠剣詩舞会）
3_めずらしい楽器に興味津々（菊川吹奏楽団による楽器の演奏体験） 4_展示アート部門には、さまざまなジャンルの作品が出品された（中央公民館多目的ホール）
5_ふんすい広場で開かれた菊花展（菊川市花の会）

第8回菊川市文化祭が11月3日と4日、文化会館アエル、中央公民館を会場に開かれました。市文化協会を中心とした実行委員会が企画・運営する総合芸術文化イベント。「人の波紋、文化の波紋」をテーマに、多くの市民が日ごろの活動成果を発表しました。

展示アート部門では、アエル・中央公民館の両会場におよそ800人が出展。絵画や書、写真、生け花などおよそ1000点が展示されました。文化会館アエル大ホールで行われた芸能ステージ部門には、38団体およそ600人が出演。古典芸能をはじめバンド演奏やダンスなどを披露しました。

また、市役所前ふんすい広場では、菊川市花の会が「菊花展」を開きました。会員が丹精込めたおよそ200点が、芸術の秋に彩りを添えました。

秋空の下作業に汗流す

上倉沢棚田「千框」で稲刈り

上倉沢棚田で10月21日、稲刈りが行われました。晴れ渡った秋空の下、棚田オーナー家族や地元の園児などおよそ450人が作業に汗を流しました。

棚田の保全活動が続けるNPO「せんがまち棚田倶楽部」が主催。オーナーたちは、地元農家や静岡大学のサークル「棚田研究会」のメンバーの指導を受けると、かまを使って黄金色に実った稲を刈り取り、丁寧に束ねていきました。



▲上手に刈れたよー！



▲親子で一緒に稲刈り

▼旧校歌と100周年を祝う曲を演奏した吹奏楽部



至誠実行の精神を未来へ

小笠高校創立100周年記念式典

県立小笠高校の創立100周年記念式典が11月8日、文化会館アエルで開かれました。在校生や学校関係者およそ1200人が出席。100年の歴史に思いをはせました。

式典では、久保田幸弘^{ゆきひろ}同窓会長や加藤恵美^{えみ}生徒会長が、それぞれの思いを語ったほか、吹奏楽部の演奏や記念DVDが上映^{しんいち}されました。また、生物学者で青山学院大学教授の福岡伸一^{しんいち}さんによる記念講演も行われました。

10/26 ふるさと学校実行委員会が受賞報告

子どもをはぐくむ地域活動団体として、県教育長から表彰を受けた「ふるさと学校実行委員会」。後藤芳郎実行委員長（宮前）が市役所を訪れ、市長に受賞を報告しました。



11/3 赤堀佐代子さんが旭日双光章を受章

赤堀佐代子さん（高橋口・元静岡県議会議員）が、平成24年秋の叙勲で旭日双光章を受章されました。おめでとうございます。



11/3 八木照利さんが瑞宝双光章を受章

八木照利さん（西袋・元小笠地区消防組合消防監）が、第19回危険業務従事者叙勲で瑞宝双光章を受章されました。おめでとうございます。



11/5 青年海外協力隊が帰国を報告

2年間の活動を終え帰国した原田典子さん（下本所・ドミニカ共和国派遣）と白岩美里さん（棚草・チュニジア派遣）が、現地での生活や活動について市長に報告しました。



11/9 菊川茶娘が1日消防署長で防火啓発

菊川茶娘の都田実咲さん（川島）が1日消防署長となり、市内スーパーの店頭で、火災予防のメッセージが入ったポケットティッシュなどを配布。防火を呼び掛けました。



茶生葉摘採の自動化など見学 皇太子殿下茶業研究センター訪問



▲雨の中、熱心に茶生葉の摘採を見学される皇太子殿下

第36回全国育樹祭の式典行事出席のため、静岡県を訪問された皇太子殿下が11月11日、倉沢の県農林技術研究所茶業研究センターを視察されました。

新製品開発実験棟や県茶手揉保存会による手もみ実演を鑑賞された皇太子殿下。雨の中センター内の茶園へも足を運び、摘採機が茶生葉を摘む様子などを熱心に見学されました。

センターを出発する際には、見送りに訪れた市内の茶業関係者らに、「体に気をつけて、頑張ってください」などと声を掛けられました。

宿を共にし食は人をつなぐ 神宮寺で河東仲良し学校開催



▲食事の前に、五感の偈を唱える児童たち

河東仲良し学校が11月14日から16日までの3日間、河東の神宮寺で開かれました。今年31回目を迎える恒例行事。小笠南小の1年から6年までの児童13人が、親元を離れ2泊3日の共同生活を送りました。

仲良し学校では、「食」の大切について子どもたちに伝えるため、食事の作法について指導。食事の前には、食に感謝する禅宗の「五感の偈」をみんなで唱えました。最終日には、全員でケーキを作り、保護者と一緒に夕食を食べ全日程が終了しました。

お正月の準備にご利用下さい 菊川朝一歳末大売出

- 日時** 12月22日(土)～30日(日)
午前6時～9時
- 会場** 内田小学校北側
- 内容** 新鮮な野菜、正月飾り、花などの販売
- 問** 菊川朝一(☎090-5850-9643)

その他

該当する人は申請を 高齢者の障害者控除対象者認定

障害者手帳の交付を受けていない満65歳以上の人で、6カ月以上寝たきりの人や障がいのある人は、障害者控除対象者認定を受けることで、所得税や市・県民税の申告での障害者控除の対象になります。

認定にあたっては、申請が必要となります。

持ち物 印鑑

申・問 長寿介護課高齢者福祉係
(プラザけやき内 ☎37-1254)

市立総合病院機器更新に伴う MRI検査休止のお知らせ

市立総合病院では、MRI機器を更新します。更新期間中は、当病院でMRI検査を実施することができません。検査が必要な場合は、近隣病院と連携して対応します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

期間 12月14日(金)～平成25年1月20日(日)

問 市立総合病院 (☎35-2135)

調査にご協力をお願いします 平成24年工業統計調査

期間 12月中旬～1月中旬

内容 1年間の製造活動を調査
(従業員数、製造出荷額など)

対象 12月31日現在で製造業を営む事業所

方法 県から任命された調査員による訪問調査

※調査票に記入していただいた内容については、統計法により厳重に保護されます。

問 企画政策課企画係(☎35-0924)

平成25・26年度菊川市一般競争(指名競争)入札参加資格審査申請の受付

平成25・26年度(2年分)の一般競争(指名競争)入札参加資格審査申請を次の通り受け付けます。提出方法などを記した申請書提出要項などは市役所北館1階財政課で配布しています。

※申請書提出要項などは、市ホームページにも掲載しています。

- 対象** ①建設工事
②測量・建設コンサルタントなど
③物品などの製造・販売、役務の提供

受付期間 平成25年1月15日(火)～2月14日(木)

問 財政課契約管財係(北館内 ☎35-0919)

ご存知ですか 生ごみ処理機器購入費補助金

市では、一般家庭から出される生ごみの減量のために、生ごみ処理機器を購入する世帯に購入費の一部を補助します。

生ごみ処理機器の利用によってごみの量がおおよそ7分の1になるといわれています。あなたも「ごみ減量」を始めませんか。

- 補助対象者** ①市内に住所を有し、現に居住している人
②市税等を滞納していない人(同一世帯に属する人を含む)
③市内の販売店で購入する人
④過去5年以内に購入補助を受けていない人

- 補助対象機器** ①電気式生ごみ処理機
②生ごみ堆肥化容器(コンポスト容器)

補助額 購入額の2分の1を補助

※電気式生ごみ処理機は2万円、生ごみ堆肥化容器(コンポスト容器)は5,000円が限度額(100円未満切捨て)

申込方法 補助を受ける人は、処理機器を購入する前に環境推進課窓口で申し込みください。

※申し込み前に処理機器を購入された場合は、補助を受けることができませんのでご注意ください。

申・問 環境推進課環境推進係(☎35-0916)

段向橋歩道橋設置工事に伴う車両通行止めのお知らせ

段向橋(東横地地内)が下記の日程で車両通行止めとなります。期間中は歩行者・自転車以外の車両は終日通行止めとなります。皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

工事期間 12月10日(月)～12月29日(土)

規制区間 横地保育園から北側信号機までの区間(段向橋付近) ※工事終了次第開放します。

問 建設課整備係(☎35-0934)

介護ベッド事故にご注意ください

介護ベッド用手すり(サイドレールなど)による死亡・重大事故が発生しています。危険な部分があるかどうかを確認し、正しい使い方によって未然に事故を防ぎましょう。

- クッション材や毛布などですき間を埋める
 - すき間を埋める対応品を使用する
 - サイドレール等の全体をカバーや毛布で覆う
 - 定期的にベッド利用者が目視確認を行う
- ※詳細は、消費者庁HPをご覧ください。

問 消費生活センター(商工観光課内 ☎35-0937)
消費者庁(<http://www.caa.go.jp/>)



募 集

菊川の医療を守るために 市立総合病院職員を募集

職種・募集人員

助産師 3人(勤務地:市立総合病院)

看護師(臨時職員) 1人

(勤務地:家庭医療センター)

受験資格 資格を有する人

受付期間 随時

会場 市立総合病院

選考方法 面接

申・問 市立総合病院総務課
(☎35-2130)

参加ペアを募集します 菊川市第8回スポンジテニス大会

日時 平成25年2月3日(日)

受付 午前8時～開会式 午前8時45分～

会場 市民総合体育館、小笠体育館
(参加人数により調整)

チーム編成 1ペア2人(男女問わず)

部門 一般の部 4年生以上の人

シニアの部 2人合わせて110歳以上

初級の部 始めて1年以内の人を含むペア。または小学生

対象 市内に在住・在勤・在学者
(小学4年生以上)

参加料 1ペア500円(当日集金)

申込期限 12月28日(金)午後5時

申・問 社会教育課スポーツ振興係
(中央公民館内☎73-1114 FAX 73-6863)

鳥獣害でお困りの人へ 狩猟免許(わな猟)試験

日時 平成25年2月17日(日)
午前9時～

会場 北遠総合庁舎4階大会議室
(浜松市天竜区二俣町鹿島559)

免許の種類 わな猟

内容 知識試験 法令・猟具・鳥獣・鳥獣の保護管理

適性試験 視力・聴力・運動能力

技能試験 猟具の取扱い・鳥獣の判別など

申込期間 12月17日(月)～平成25年1月18日(金)

受験料 5,200円

申 中遠農林事務所森林整備課
(☎0538-37-2301)

問 農林課農業係(☎35-0938)

スポーツに関する知識を学ぶ スポーツ講座参加者募集

開催日	内 容	講 師
平成25年 1月 29日	ジュニア期の スポーツ指導	ひさと 富田寿人氏 (静岡理工科 大学准教授)
2月 5日	ウォーキング の理論と実践	
13日	テーピング法	まさし 横田正史氏 (よこた接骨院 院長)
20日		
27日	マッサージ法	

会場 堀之内体育館、中央公民館

対象 市内在住・在勤の18歳以上の
人(高校生は除く)

参加料 1人1,000円(初回到集金)

受付期間 12月10日(月)～26日(水)

申・問 社会教育課スポーツ振興係
(中央公民館内☎73-1114)

企業に力を人生に幸せを ワーク・ライフ・バランスセミナー

日時 平成25年2月27日(水)
午後1時～4時30分

会場 浜松労政会館
(浜松市中区東伊場2丁目7番1号)

内容 「県内の実践企業から学ぶワ
ーク・ライフ・バランス」講義・
意見交換・相談など

講師 平松きよ子氏
(㈱たこ満相談役)

コーディネーター 富田哲弥氏
(富田中小企業診断士事務所代表)

対象 企業経営者、人事労務担当
者やその他従業員、関心のある人

定員 50人(先着順、参加無料)

申込期限 平成25年2月20日(水)

申・問 県労働政策課(☎054-221-
2338 FAX 054-271-1979 E-mail
roufuku@pref.shizuoka.lg.jp HP http://
www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-210/index.html)

平和を仕事にする 陸上自衛隊高等工科学校生徒募集

試験日 平成25年1月19日(土)

会場 浜松合同庁舎
(浜松市中区中央一丁目12番4号)

対象 中学校卒業見込み者～
17歳未満の男子

申込期限 平成25年1月7日(月)

問 静岡地方協力本部袋井地域事
務所(☎0538-43-3717)

県立静岡視覚特別支援学校 高等部保健医療科入学者募集

社会復帰を目指す人のために入
学相談や視覚障害に関する相談を
受け付けています。年齢に制限はあ
りませんので、気軽にご連絡ください。

対象

●両目の視力が概ね0.3未満の人
●視力以外の視機能障害が高度の
人(視野狭窄、複視など)

●近い将来、視力が著しく低下す
る恐れのある人

※詳細は問い合わせください。

問 県立静岡視覚特別支援学校
(☎054-283-7300) 担当 渡邊、北村

保 健

あなたの行動で助かる命がある 献血にご協力をお願いします

●実施日 12月28日(金)

時間 ①午前9時30分～11時50分
②午後1時～4時

会場 堀之内体育館東側

●実施日 平成25年1月8日(火)

① 時間 午前9時30分～正午

会場 市役所小笠支所

② 時間 午後1時30分～4時

会場 J A 遠州夢咲本店

問 健康づくり課母子保健係
(プラザけやき内☎37-1112)

催 し

應聲教院秘仏本尊阿弥陀如来 50年に1回の御開帳

50年ごとに1回と伝えられて
いる應聲教院秘仏本尊阿弥陀如来
の御開帳と12年ごと、辰年に行う
秘仏愛染明王の御開帳をします。

期間 12月16日(日)～22日(土)

会場 應聲教院

その他 駐車場はありますが混雑
が予想されます。参拝する人は係
員の指示に従ってください。

●應聲教院第五十六世晋山式

日時 12月16日(日)午後1時～3時
練行列 午後1時～
晋山式 午後2時～

問 應聲教院(☎35-2633)

年末の交通安全県民運動が実施されます。期間 12月15日(土)～12月31日(月) 年末に向けて慌ただしくなり、飲酒の機会も増えますが、一人ひとりが交通ルールとマナーを守り、交通事故をなくしましょう。夕暮れが早くなる季節です。自発光式反射材を活用しましょう。問 安全課交通防犯係(☎35-10923)



菊川の偉人・先人

其の四十四

- 1_ 明治時代初期に租税軽減、公選民会開設を主張した足立孫六
(出典：近代静岡の先駆者)
- 2_ 明治9年7月30日の選挙で用いられた「浜松県小区会議員選挙投票紙」
(提供：静岡県歴史文化情報センター)
(所蔵：静岡県立中央図書館)



2



1

租税軽減の追求と、公選民会開設に尽力した民権家

足立 孫六

足立孫六は天保14年（1843年）9月9日、遠江国城東郡丹野村に三橋家の二男として生まれました。後に周智郡平宇村（現袋井市）足立家の養子となり、文久3年（1863年）4月3日、足立家の後継となりました。

明治6年、孫六は浜松県第二大区十七小区長に任命されました。その職務遂行中の明治8年、当時行われていた地租改正調査の際、租税の軽減を主張し、県官と対立しました。また、同時期に行われていた地方官会議で「公選民会案」が否決されました。結果を聞いた孫六は、『郵便報知新聞』に「民会論」を投稿。『今こそ真の民会を開くべき』と主張し、この決定を批判しました。租税軽減運動に公選民会開設運動をも訴え続けた孫六は、ついに区長を罷免されてしまいました。

◎ 足立 孫六
あだち まごろう
天保14年（1843年）—
明治44年（1911年）
丹野村生まれ。
浜松県で戸長・小区
長や県庁に出仕しながら、租税軽減、公選
民会開設を訴え続け、
浜松県民会開設に導
いた。

（参考：近代静岡の先駆者 静岡新聞社）

農民はこれに強く反発しました。この民心が騒然した状況の続く中、孫六は県政に県民の意見を反映させるため、民会開設を県令（知事）に建議しました。同年6月に県権少属になると民会御用係に任命され、浜松県民会設立に着手しました。

民会設立は交換米問題という切迫した状況下であるにも関わらず順調に進みました。これは、孫六が県民会設立の指導だけでなく、以前より民会論を普及していたことが大きく影響したと思われる。同年8月、浜松県民会が発足し、県下で財産や性別を問わず16歳以上の戸主によって県会議員が選ばれました。浜松県民会は、浜松県廃止後も遠江国州会として多くの議案を審議し、この後も交換米取消運動意思決定機関として重要な役割を果たしていきました。



年長児さん全員集合㊤
●愛育保育園 黄組

表紙のことは



菊川児童館主催の「公園でいっしょにあそぼう!」は11月22日、菊川運動公園で開かれました。およそ40人の親子が参加。いつもの児童館を離れ、外遊びを楽しみました。

広い芝生広場を、元気いっぱい走り回る子どもたち。後ろから楽しそうに追いかけるお母さんたち。菊川運動公園には、笑顔と元気な笑い声が溢れていました。

